

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MM	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4 年	派遣国	台湾
派遣大学	長庚大学		
期 間	2025 年 9 月 1 日～ 2026 年 6 月 2 6 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○ (オプション)
滞在費	約 (16,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30,000 円	校内外で食事、スーパーでの買い物
学用品購入費	1,000 円	ノート、筆記具
交通費	5,000 円	M R T、バス (一回 60 円)
交際費	10,000 円	友人との食事や外出
その他	46,000 円	観光、旅行、衣服など
合計	80,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はとてもよく、スリなどの心配は全くなく安心して過ごすことができた。日本に比べると、モーターサイクルを利用する人の割合が多いため、徒歩で移動時、特に道を横断する際左右に注意を払う必要がある。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(99,980) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	J-TAS		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(約 2 万) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (桃園市龜山區)

最寄り駅は桃園MRTのA7体育大学駅で、学校から徒歩15分ほどだがスクールバスや一般のバスも利用可能である。駅からは乗り換えなし1本で、桃園国際空港や台北駅にアクセス可能で利便性は非常に高い。駅付近にはスーパーが2～3件とコンビニやカフェ飲食店などが並んだ通りがある。治安はよいが学校周辺にはお店がないため夜道は少し暗めを感じる。

隣のA8駅や長庚大学の系列の長庚医院駅があり、飲食店や薬局、大学病院など様々な機能があり、夕食やショッピングに訪れることも多い。大学から直中のバスで付近に下車が可能でアクセスも非常によい。A8駅付近には長距離バスステーションが位置しており、台南や台中といった南部の都市への旅行を計画する際に重宝する。

【学業編】

1. 大学情報

大学	長庚大学	所在地	333 桃園市龜山區文化一路 259 號
最寄空港	桃園国際空港	空港からの距離	およそ 28 km
空港⇄大学	(M R T で A 12 桃園空港駅から A 7 体育大学駅、バス 967 番もしくはスクールバスもしくはタクシー) *移動手段		
学生数	7,290 人	留学生数	551 人
学部	<p> 醫學系 中醫學系 護理學系 生物醫學系 呼吸治療學系 物理治療學系 職能治療學系 醫學影像暨放射科學系、醫學生物技術暨檢驗學系 電機工程學系 電子工程學系 機械工程學系 資訊工程學系 化工與材料工程學系 生物醫學工程學系 工商管理學系 工業設計學系 資訊管理學系 醫務管理學系 數位金融科技學系 人工智慧學系 </p> <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>工商管理學系</p> <p>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10-12 Managerial Accounting	10-12 Customer Relationship Management		10-12 Basic Chinese 2	9-12 Big Data
午後	13-15 Capital Market				

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		9-12 Engineering Economy		8-9.5 ゼミ	8-10 Basic Chinese 3
午後		13-16 Operating Research		13-15 Marketing Management	13-15 Digital Marketing

3. 履修内容

科目	Managerial Accounting		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	原価計算や管理会計の概念を理解し、実務で役立つ手法や分析アプローチを学ぶ。(工程別原価計算、損益分岐点分析、変動原価計算、活動基準原価計算、標準原価計算、変動予算、意思決定のための関連原価と関連便益、資本予算など) PPTを使った講義、授業内演習、グループプレゼン課題が課された。テストは中間と期末の2回で、中間は筆記の計算問題、期末はオンライン形式で各自異なるグラフや表から読み取り、回答する問題であった。		
成績	B 79		
YCU 振替予定	科目	原価計算論	
	単位数	2	
	担当教員	藤崎 晴彦	

科目	Capital Market		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	授業はPPTを用いた講義が基本スタイルで、企業財務や資本市場の原則と概念を学ぶ。中間、期末の2回の試験と2回のプレゼン課題(ケーススタディ)があり、試験内容は授業内で解説されたコンセプトの理解度を確認する記述式で、プレゼンは与えられた論文を読み、どの選択が最適であるかを導きだすといった内容。		
成績	A 83		
YCU 振替予定	科目	特講(国際商学部留学科目F)	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	Customer Relationship Management		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	適宜講義内容に応じて質問をしつつ進めるインタラクティブな講義、授業内でのディスカッション、プレゼンで構成された授業。授業内で話し合い簡単にまとめて発表するなど、参加型であることが特徴。試験は期末の一回のみで、まとめて授業内すべての内容が問われる。試験は筆記形式だがPCの持ち込み可能(事前にダウンロードしたメモの閲覧に利用、インターネットはオフの状態)。		

成績	A 90	
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 D）
	単位数	2
	担当教員	—

科目	Basic Chinese 2		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	スライドやオンラインの教科書を用いながら、会話等を交えて中国語（繁体字）を学習する授業スタイル。講師は主に中国語を話し、理解度にあわせて英語での説明がある。進度に合わせ適宜宿題が課される。試験は期末の 1 回のみで、最終日には個人のプレゼン課題が課された。		
成績	A 90		
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践 A	
	単位数	2	
	担当教員	杜 軼文	

科目	Big Data Application and Electronic Commerce		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	ビッグデータの処理・活用方法や E コマースの仕組みについて P C を用いた演習やグループ課題を含めつつ行う。グループでファイナル課題が課され、E コマース企業の構造について分析を行った。		
成績	A 89		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	Engineering Economy		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	スライドを用いて講義を行い、毎週最後の 1 時間は問題演習（小テスト形式）の課題が課される。テストは中間と期末の 2 回で、電卓のみ持ち込み可。工学経済学の原則と方法論が主なトピックで、金利の計算や費用計算のシミュレーション別計算方法を学ぶ。		

成績	A 92	
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 C）
	単位数	2
	担当教員	—

科目	Operations Research		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	決定論的および確率論的な最適化モデルを扱う。マルコフ連鎖、待ち行列理論、動的計画法、線形計画法、非線形計画法などが主なトピック。中間、期末 2 回の試験と、グループプレゼン課題。プレゼンのテーマは授業で扱ったトピックに関連するものを選択する方式で、所属グループではマルコフ連鎖の概念をつかったアプリケーションやシステムについて解説。		
成績	A 81		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 E）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	Marketing Management		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	マーケティングの基礎知識や変革を学び、それらをもとに実践的な形式でマーケティングプランを計画する。中間と期末 2 回の選択式試験に加え、2 回のグループプレゼンが課される。		
成績	A 81		
YCU 振替予定	科目	Global Marketing	
	単位数	2	
	担当教員	アフマッド ザヒル	

科目	Basic Chinese 3		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	スライドやオンラインの教科書を用いながら、会話等を交えて中国語（繁体字）を学習する授業スタイル。講師は主に中国語を話し、理解度にあわせて英語での説明がある。進度に合わせ適宜宿題が課される。試験は期末の 1 回のみで、最終日には個人のプレゼン課題が課された。授業スタイル		

	は Basic Chinese 2 と同様であるが、内容がさらに高度のものになった。 似ている意味合いの単語のニュアンスの違いを例文から学ぶなど。	
成績	A 94	
YCU 振替予定	科目	専門外国語 A (中国語)
	単位数	2
	担当教員	杜 軼文

科目	Digital Marketing		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	デジタルマーケティングの必須知識と実践的スキルを学ぶためのコース で、戦略立案やデータ駆動型意思決定が主なテーマである。期末試験 1 回のみで P C を用いて回答（事前にダウンロード・作成したメモの閲覧 用、インターネットはオフ状態）。それぞれ異なるトピックのグループプ レゼン課題が課される。（所属グループはバーチャルインフルエンサーの 購買意欲への影響がテーマであった。）		
成績	A 86		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

一年もの長期間日本を離れ外国で暮らすという経験自体が初めてで、留学生生活を通じて初めて経験することや感じることは数多くあった。

まず、生活面においては寮でのルームメイトとの共同生活を通じて多くのことを学んだ。大学が始まってからは一人暮らしを始めたため、常に誰かと共に過ごすという生活は新鮮でありつつも、互いを気遣う必要があり気疲れを感じる時もあった。ただ、共同生活だからこそお互いにいろいろなことを共有し合い、家族とまではいかないが通常の友人よりも親しい、普通とはまた一味違った友情を気づくことができた。日常生活では、交通や習慣など慣れない部分がたくさんあった。バスは乗り降り後すぐに発車する部分やモーターサイクルの利用が非常に盛んで、道の両脇いたるところに駐車可能な場所あるところなど、日本とは違う部分が非常に多くと驚くことばかりだった。日本とは違う場所で生活することで、逆に日本の良さを再確認したり、日本はどうかと考えるきっかけになったりと、違いに直面することで初めて気が付ける日本という国の新たな側面がたくさんあったと感じる。日本では当たり前だと思っていたことが、当たり前ではないことや逆に日本ではあまりない風習だけど良いなと感じる部分も多く、そういった瞬間に留学にきた面白さを実感できる。たとえば、日本の衛生的な水準の高さを実感したことや、飲食店などで退店時に店員さんがバイバイと気さくに挨拶してくれる飾らないフレンドリーさ、困っていたら進んで助けてくれる優しい国民性を感じたことなどがある。

勉強やクラスメートとの関わりから感じたことは、互いに全くことなるバックグラウンドを持つ者であるからこそ、1つの話題に対して全く違う視点からの意見を持っていたり、皆が積極的に意見を言い合ったりなど日本で学ぶ時とは異なる刺激を感じられた。中でも働いた経験を持つクラスメートの視点は、会社の実情を理解した上で内側からの視点も取り入れたもので洞察力や思考の深さに驚かされた。授業時間も日本で一般的な1コマあたり90分～100分ではなく、50分を1限とし間に10分休憩をはさみ基本的にはそれを2限続けて行うスタイルだった。(授業によっては3、4コマ続けて行う場合もある)区切りがあることで集中して取り組むことができ、個人的には台湾の授業時間の方があっていて感じた。

新しいことを見聞きし、体験することで、視野が広がり今まで見えなかった側面を考えたり感じたりするきっかけになったと感じる。留学で培った語学力や新たな思考プロセスをこれからも大事に育てていきたいと強く思う。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

留学で培った語学力と知らない土地でも生き抜く力を生かして、さらに海外に出て生活したいという意欲が強まった。卒業後はワーキングホリデーに行き、外国で働くという新しいことにチャレンジしたい。そのためにも、語学の勉強を怠らず、より一層力を入れると同時に、渡航先の風土や文化をあらかじめ知っておくことも大切だと感じる。留学は学生という肩書があり、学校やその他サポートしてくれる人がたくさんいて、守られている環境での生活であったが、ワーキングホリデーとなると、良くも悪くもすべてが自己責任となる。日本だけではなく海外であっても、自分の身は自分で守れるように自立した生活を心がけた生活を送りたい。

また、現在のアルバイトで外国のお客様に接客する機会も最近は多いため、その時に進んで接客を引き受けたり、自分が留学先で現地の学生たちに助けてもらった分、市大に留学にきた学生のチューター活動にもチャレンジしたりなど、積極的に海外の方との繋がりを持ち続ける姿勢を忘れないようにしたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

ほとんどの人にとって半年以上の長期留学は初めての経験になると思うが、留学したいという想いがあるならば、大学生の今が一番チャレンジしやすいタイミングだと思うので、迷わずに留学に挑戦してほしいと強く思う。留学前の準備に関して、準備のやり過ぎなど存在しないということを常に頭に入れて行動してほしい。先輩の報告書を読んだり、可能であれば個人的にコンタクトをとって不安なことを事前に聞いてみたり、留学先の風土や学校周りの環境を調べてみたり、留学後のスムーズな生活のためにできることはいくらかもある。先輩に聞くのは忍びないと感じるかもしれないが、実際に経験した先輩からの生の声はとても役だつもので、先輩たちも自らの経験から後輩にぜひとも伝えてあげたいことばかりだと思う。実際私もそうで、後輩からコンタクトがあった時、おせっかいといえるほどの長文で返信したこともある。だからこそ、ぜひ積極的に先輩にコンタクトを取ってほしい。現地の情報を集める以外には、留学先でつかう語学を勉強することも怠らないこと、そして事務手続きは時間に余裕をもって申請を行うこと。基本的ではあるがやはり徹底してこそ安心して学びに集中できる留学の環境が整うと思うので、準備を徹底することを常に心がけてほしい。渡航後の留学期間中は、何事もその瞬間が最後のチャンスだと思って、後悔しない選択をすることに尽きる。言いたかったのに言えなかった、行きたかったのに行けなかったなど、チャレンジは一瞬だが後悔はずっと残る。留学中は常に自分の心の向く方に正直に何事もチャレンジすることが一番大切だと私は思う。